

くまぐさ
田畑の草種

豆軍配齋 (マメグンバイナズナ)

(公財)日本植物調節剤研究協会
兵庫試験地 須藤 健一

アブラナ科マメグンバイナズナ属の2年草。道端、荒地、公園などに普通。茎は直立し背丈は20cm～50cm。よく分岐する。花時には根生葉はほとんどみられず、花と果実が良く目立つ。花は緑白色の4弁花で、果実は長さ3mmほど、扁平で丸くこれを行司が持つ「軍配」にみたてた。北アメリカ原産で明治の中頃に帰化したとされる。

子どものころ、といってもずっとずっと幼かった子どものころ、四つか五つの頃だったろうか、家の庭先で飽きずに眺めていたことがあったように思う。庭先の隅っこを行き来する蟻を、である。もちろんその当時のことを覚えているわけではないし、写真なんかに残っているわけでもない。何とはなしにそんなだったろうか、と思うだけである。

ところが最近になって蟻の相撲のような場面に遭遇した。家の庭に植えてあるパセリの株元に蟻が巣を造っているが、その巣から出てきた蟻と他から来たのかもしれない蟻とが鉢合わせのように向かい合って動かないのである。どのくらい前から睨

みあっていたのか分からないが、いきなり2匹が組み合った。組み合せて上へ下へと絡み合うのだが、それはまるで喧嘩をしているのか相撲をしているのか。よく見るとその2匹のすぐ横にもう1匹、その喧嘩とも相撲とも知れない取っ組み合いを眺めている蟻がいるのである。喧嘩なら仲裁蟻、相撲なら行司蟻、というところだろうが、仲裁するなら間に割って入ればよさそうだがどうもそうはしないようである。なら行司蟻だろうか。行司蟻ならどうしても持たせたいものがある。軍配である。蟻が持つのにちょうどいい軍配がある。マメグンバイナズナの果実である。大きさは3mmほどであるから蟻が持つにはちょうどいい大きさである。マメではないグンバイナズナもあるが、蟻が持つにはマメグンバイナズナの大きさがいい。

その幼かった頃にも、そんな風にして蟻を眺めていたのでは、と思いついたことであった。その蟻たちはちょっと目を離したすきに離れていった。

統計データから

飼料用米の作付・生産状況

令和3年度の全国の主食用米の作付面積は、前年実績(136.6万ha)から6.3万ha減少(▲4.6%)し、130.3万haとなった一方、飼料用米は、前年より4.5万ha増加し、11.6万ha(対前年比63%増)となっている(表-1)。

令和2年度の飼料自給率(全体)は25%で、このうち、粗飼料自給率は76%、濃厚飼料自給率は12%である。農林水産省では、自給率の低い濃厚飼料については未利用資源の利用や飼料用米の長期安定的な拡大等により、飼料自給率全体で34%(令和12年度)を目標としている。飼料用米は、とうもろこしとほぼ同等の栄養価を有し、水田で生産できる飼料用穀物として、畜産農家での利用が広がっている。国内の飼料作物作付面積(令和2年度)をみると、牧草の75.3%、青刈りとうもろこしの10.0%に次いで、飼料用米は7.4%となっている。

その他、稲WCSは4.5%、ソルゴーが1.4%となっている。

国産飼料用米の年間使用可能数量は約130万トンで、畜種別では肉用牛約7万トン、乳用牛約8万トン、豚約31万トン、採卵鶏約40万トン、ブロイラー約42万トンである。その供給は、飼料用米生産量からが38万トン、政府所有米穀からが74万トン(備蓄米19万トン、MA米55万トン)となっている。

飼料用米の生産については、多収品種の導入や区分管理(食用米を生産する圃場とは異なるほ場で飼料用米のみを作付ける管理手法)での取組による本作化が進展(表-1)している。また、飼料用米の生産の約8割が経営規模(全水稲の作付面積)5ha以上、半数以上が15ha以上の大規模農家により担われている(表-2)。しかし、飼料用米の平均単収は539kg/10aで、水稲全体の単収と大きな差はなく、多収技術が求められる(表-1)。(K. O)

表-1 飼料用米の作付・生産状況の推移

作付・生産状況	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
主食用米作付け面積(万ha)	147.4	140.6	138.1	137	138.6	137.9	136.6	130.3
飼料用米作付け面積(万ha)	3.4	8.0	9.1	9.2	8.0	7.3	7.1	11.6
うち多収品種の作付面積(万ha)	1.3	3.0	3.9	4.6	4.5	4.3	4.0	4.6
うち区分管理の取組面積(万ha)	2.7	6.0	7.3	7.6	7.0	6.5	6.3	9.1
飼料用米生産量(万トン)	19	44	51	50	43	39	38	...
水稲平均単収(kg/10a)	536	531	544	534	529	528	531	...
飼料用米平均単収(kg/10a)	554	555	558	549	538	539	539	...

表-2 飼料用米生産者の経営規模(全水稲の作付面積)分布状況(令和2年産)

経営規模(ha%)	～3	3～5	5～10	10～15	15以上
割合(%)	10	7	16	13	54

(飼料用米をめぐる情勢について 令和4年3月 農林水産省農産局)